

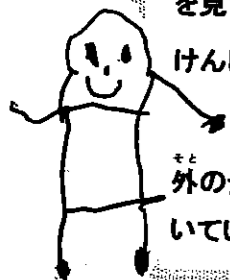
タッチこうたい

2歳児

3時のおやつのおあと、お天気が悪くて薄暗くなっている外を見て。

けんじ おひさまとおつきさま
タッチこうたいーい！！

外の景色の変化に気づき、暗くなっていることを夜に近づいていると表現した言葉です。



5歳児

忘れなかったらいいけどな

平和について考える「平和のつどい」で『へいわってすてきなね』のイラストを見た後、クラスへ戻り感じたことを出しました。

ゆうじ 戦争ってこわいな 国と国のけんかやで
もとき 爆弾が爆発したら死ぬんやで
ゆうじ そうや いややな
まさる でもだいじょうぶ 今はアメリカの人と日本の人が握手したから 戦争違うねん
保育者 まさるさん よく知ってるね アメリカの大統領と日本の首相が話し合ってたね
まさる うん、そうやで
でも(握手したことを)忘れなかったらいいけどなあ

テレビやネットの報道で、アメリカ大統領と日本の首相の対談の様子を見たまさるちゃんは、握手をしているから、今はけんかをしていないと感じているようです。「忘れなかったらいい」という最後の言葉に平和である今がいいという気持ちを感じました。

ママ どうぞ

1歳児

親子で保育者が読む「めしあがれ」という食べ物の絵本を見ている時。

保育者 はい どうぞ

絵本からつまむ真似をして える の口の前にもっていく

える あーん

口をあけて食べる真似をする そのやりとりを何度か繰り返す

える ドーナツの絵をつまんで ママの口の前にもっていく

ママ える をみてにっこりわらう

自分がしてもらったことがうれしかったのですね。それを大好きなママにしてあげるほほえましい親子の姿でした。



こどもえんでみてもらおう

2歳児

帝王切開で子どもを産み、お腹の傷口が痛くて お母さんがりつちゃんにそのことを伝えた時。

ママ ママ お腹が痛いなあ
りつ こども園に行つて 田中先生(看護師)にみてもらおう

りつちゃんは、こども園でケガをした時やしんどい時に、看護師にやさしく診てもらっています。お母さんの言葉を聞いて思わず看護師に診てもらいたいと思ったようです。



ひまわりの種の中身がない…！

どうして？

5歳児

当番(係)活動のなかで様々な疑問を見つけているきりん組。
大切に育ててきたひまわりの種を収穫し、この種を次にどうしようかと考えているとき…。

ま い 種をむいてみる
じゅんべい なにしてるの？
ま い ひまわりの種 食べられるってきいたから
どんな種か中身みてるねん
あれ！？種がない！せんせい 種が入ってない
保育者 えっ！？ほんと？なんでやろ？

お花・野菜当番のみんなで図鑑などを使って調べる
そして虫が受粉しないと種ができないことを知った

ま い そういえば せみもぜんぜん飛んでなかった…
暑すぎてむしさんとばれへんかったから、
ひまわりけっこん(受粉)できへんかったんやな

当番活動を取り組む中で、問題に気づき、それを解決するために、担任と子どもたちで毎日試行錯誤を続けている。
その中で、今年の夏の猛暑が虫にも花にも影響を与えていることに気づき、学んだきりん組でした。



第25回 子どものつばやき

平成30年度(2018年度)



21世紀を になう子どもたちに

次代をになう子どもたちが、生き生きと、健やかに育ち、力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。しかし、世界はもちろん、日本においても様々な差別に苦しみながら生活をしている子どもたちがいます。「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人の人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるようにしていくことが重要な課題となっています。

豊中市では、平成25年(2013年)4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定し、子ども一人ひとりが健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会の実現をめざしています。

就学前施設では、「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人ひとりの子どもの人権を大切にすることを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にする心を培い、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした人権教育・保育をすすめています。

「子どものつばやき」は、人権教育・保育の中で大切にしてきた取り組みの一つです。



カーテンから「ばあ〜」

さいじ
0歳児

お昼寝から起きた2人が笑いあっていました。
さくらちゃんがカーテンの中に入り たろうちゃんに向かって

さくら ばあ〜
たろう あははは...

たろう が笑うと さくら も笑顔になっていました

たろうちゃん的笑容がうれしくて、何回も「ばあ〜」として
いるさくらちゃんでした。



ふみなにしてるのかな？

さいじ
2歳児

ふみちゃんは、注射器とチューブを使って 胃から栄養を取って
います。

さやか ちゅうしゃしてる
やすお だいじょうぶ？
保育者 ふみちゃん ごはんたべてるよ。いたくないよ。
みんな ふみの様子をじっと見守る

ふみちゃんと自分の生活スタイルのちがいを感しながら知り合っ
ているところです。



ずっとまっていたんやで

さいじ
5歳児

運動会で組体操に取り組んでいるきりん組。
他のグループが練習をはじめ中、休みがちなけんちゃんが
いるグループはけんちゃんくるまで待ってから練習をはじめよう
と決めた。

久しぶりに けん が登壇する
グループの友達 けんちゃんがきてくれた〜！やった〜！
まっていたんやで〜！
けん ずっとやすんでごめんな〜
まってくれたん？ありがとう
グループの友達 うん！ずっとまっていたんやで！！
やった！やった！
ハイタッチしながらみんなでよろこびあう
グループの友達 せんせー けんちゃんきたから、ぐるーぶわざ
きめるわあ！



友だちの一人として自分が必要とされていると、
実感できた瞬間でした。

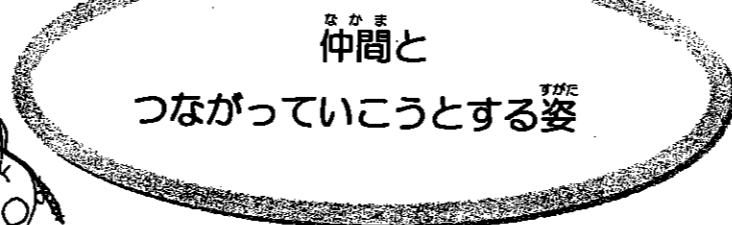
ねえ ねえ きいて

さいじ
5歳児

自分で移動することが難しいたくちゃん。
いつもは、たくちゃんに物を渡したり、しんどそうにしていると、頭をなでたり
しているかつやちゃん。
この日はママにしかられて、どうしようかとすこし困っている様子でした。

かつや 近くにいた たくのお腹の上に頭をつけてじっとしている
“ねえ、ねえきいて...”
たく 自分のお腹の上に頭をつけてじっとしている かつや をみている
“わかってるで...”

いつもいっしょに遊んでいた たくちゃんにくっつくことで、力をもらっている
のかなと感じました。
また、ことばのやりとりはないけれど、お互い支え合う存在なんだなと感じ
た場面でした。



なかま
仲間と

つながっていこうとする姿



しんくんがどっちがいいか きめたらいいやん

さいじ
3歳児

ひとりで歩くのが難しいしんちゃん。ホールへの移動時、保育者が手
をつないで行こうとすると、つんちゃんとのんちゃんがしんちゃんを
誘いにきた。

つん しんくんはいつもハイハイで行くねん
のん 今日歩いて行きたいかもしれんで
つん そうやな しんくん ハイハイと歩くの どっちがいい？
しん 歩く動作(腕を前後に振る)をする
のん そしたら一緒に歩いて行こう

ふたりと手をつないで笑顔のしんちゃん。
つんちゃんとのんちゃんもしんちゃんの歩調に合わせてゆっくと歩
き、楽しそう。



テ テ テ

さいじ
1歳児

給食前、他児は自分の椅子に座り、食べる準備をしていた。

給食コーナーに座っていた ふみか に気づいて みれいが そば
に行き肩をとんとんとたたいて

みれい テ テ テ

と声をかけると ふみか の手をつないで ふみか の席まで連れて
行き 座るまで見届けた後 笑顔で拍手し ふみかも笑顔になっ
ていた



ちょっとまってあげよう

さいじ
2歳児

ホールで活動をする前にトイレに行った時のこと。
一人の女の子が排泄後、パンツをはかずにあそんでいた。

あさひ せんせい〜 もうみんなトイレおわったから
ホールいこう
みんな よし いこう！しゅっぱつしんこう！
まゆ れなちゃんまだやで！ちょっとまってあげよう
みんな あ！ほんまや〜
まゆ れなちゃんガンバレ！
みんな れなちゃんガンバレ！れなちゃんガンバレ！
れな ありがとう



あつ、今日は大丈夫や

さいじ
4歳児

クラスに、気圧の加減で痙攣発作が起こる子どもがいるので、毎日、
クラスのみんなで空をみることにしていた。
ある日、快晴の空を見上げた時のこと。

みお あつ、今日は大丈夫や
保育者 ん？
みお 雲がひとつもないから あつちゃん大丈夫やん

クラスの友達のことを理解し、気にかけている子どもたちです。





「つぶやき」ってなあに

子どもたちは、日ごろから友だちや大人と関わって遊び、生活する中で“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”“腹が立つこと”“求めたり望んだりしていること”など様々なことを感じ、表現しています。

このような子どもたちの「思い」を表現したものを、言葉だけでなく、しぐさ・動き・表情などを含めて、「つぶやき」としてとらえています。



「つぶやき」をとおして



公立・私立こども園・民間保育所(園)・児童発達支援センターなどの就学前施設では、「つぶやき」をとおして、子どもの生活や友だちへの「思い」をしっかりと受け止め共感するとともに、周りの友だちに伝え広げていくことを大切にしてきました。

このことは仲間とともに生きる子どもを育み、さらには、一人ひとりの子どもの人権を守ることに繋がっていきと考えています。

子どもの姿や思いを私たち大人がしっかりととらえ、教育・保育を見直しながら、子どもたちの人権についてこれからも考えていきたいと思います。

ここに紹介している「つぶやき」は、「平成30年度(2018年度)子どものつぶやき展」で展示している「つぶやき」です。



子どもの「つぶやき」は 明日への期待がいっぱい

しあわせやなあ

3歳児

給食の時、ごはんをひとくち食べて。

あきら ああ～ ごはんもおいしい
めっちゃしあわせやなあ

こうた ほんまやなあ
おいしってしあわせやなあ

ごはんを食べて思わず出た「しあわせやなあ」という言葉。友達とその思いを共有した場面でした。



ア～ア～ア～

0歳児

ベビーベッドでのお昼寝から目が覚め泣き始めました。

りくと ア～ア～
保育者 起きたのね
抱きあげる

りくと ア～ア～ア～
保育者 立って欲しいの？
抱っこしたまま立ち上がる

りくと ア～ア～ア～！
保育者 えっ！動くの？
抱っこしたまま歩くと泣き止む

泣き声の大きさや抑揚で「抱っこ」「立って」「動いて」としっかり要求を伝えてくれます。「こう？」「ちがう？」と思いを読み取りながら関わることの大切さを実感しました。



さむいね

2歳児

朝 園庭に出た時 少し肌寒く感じた日の事…。

ちぐさ きょうは さむいね
保育者 ほんまやね 今日寒いな
ちぐさ うん さむくなったら おしっこでるね

ちぐさちゃんは、おしっこが近くなったことで、季節の変化を感じたんですね。

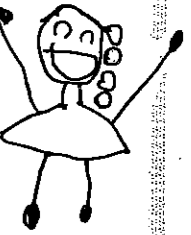


うれしそうやったよ

4歳児

毎月訪問していた地域のデイサービスの最後の訪問から戻ってきて事務所の先生にその時の様子を話した時。

たろう 今日 最後やったからハート(折り紙で作ったもの)
わたしてん
らいと おばあちゃん うれしそうやったよ
はなこ だから はなこもうれしかったわ



相手に喜んでもらったことが、自分たちの喜びになっている姿でした。



てんとうむしのおかあさん

4歳児

園庭で虫探しをしている時に、木の葉の裏で産卵しているテントウムシをみつけて。

じろう おかあさん がんばってる
ゆうこ めっちゃ 卵産んでる
じろう ほんまや
たくさんあかちゃんに会いたいよって思って
いっぱい産んでるのかな？
ゆうこ そうや そうや！

実際に卵を産んでいるところを見た貴重な体験でした。一つ一つたくさんの卵を産んでいる様子を見て、テントウムシのお母さんの気持ちを想像したつぶやきでした。

木がねんねしてるね

2歳児

子どもたちと散歩をしている時。

保育者 今日は風が強いね
なの 風がビューンって来たね
先日の台風で花が散り 草が倒れているのを見て
りく 木がねんねしてるね
ふゆ ほんとうだ ねんねしてるね



チュウしてくれんねん

さいじ
5歳児

命の集いで、絵本『あなたがとってもかわいい』を見たあと「みんなのパパやママもかわいいっていついてくれる?」と聞いた時。

こうき こうきくんさあ ママさあ (こうきくんが) ねてから おしごとかえってくんねんけどなあ こうきくんがねてたら こうきくんがかわいいってチュウしてくれんねん

保育者 そうなんや いいなあ こうきくんねてるけど ちよつとおきてるん? ねたふりしてんの?

こうき うん め(眼)はとじてるけど おきてんねん

保育者 そっか どんなきもちやったん?

こうき めっちゃうれしい!!

満面の笑顔



普段はなかなか自信をもってみんなの前で発表することはあまりない。自分が大事にされていることを実感し、愛されているという自信があるので、そのことについて自信満々にみんなの前で伝えることができた。周りの友だちも普段「チュウ」という言葉をきくと照れてからかったりするが、こうきちゃんの堂々と発表する姿から何かを感じて、からかったりせずに、にこにこして聞いていた。こうきちゃんの気持ちに共感しているようだった。

ニャオとドン

さいじ
4歳児

トイレへ行こうとした きおちゃんが「ドン! (おしっこのこと)」と言うのを聞いていた みちちゃん。

みち みちちゃん(自分)は、おしっこっていう

るいちゃんは「ニャオ」っていうし

きおちゃんは「ドン」っていうのが

おもしろい

なんで~

さち みんな ちゃうな~

るいちゃんは中国から来たお友達。中国語でおしっこは「ニャオ」と言います。きおちゃんは今 おしっこのことを「ドン」と言って伝えてくれます。みちちゃんは、自分がいつも言っているのと違う言い方におもしろいなあ、いろいろな言い方があるんだなとらえているようです。



あいずでわかるねん

さいじ
5歳児

全く日本語がわからずに転入してきたエフィムちゃん。虫取りをしていたけいたちゃんのところへ行って、一緒に遊んでいた。

けいた あんなあ エフィム 日本語しゃべられへんけど

いっしょにあそんでん

母 え? どうやっていっしょにあそんだの?

けいた あいずで わかるねん



けいたちゃんは人とかかわることが苦手で、一人でいることが多い。でも、虫取りは大好きで、そこでは、クラスの友だちからも認められている。言葉が通じなくても、『虫が好きな友だちだよ ちゃんと気持ちわかるよ』と教えてくれていました。



台風 こわかった

さいじ
3歳児

部屋で画用紙にクレパスで絵を描いている時。

保育者 好きなものかいていいよ なに描こうかな

あきら トロ あとくるま

と言いながら描きはじめる

紫のクレパスで紙いっぱいになぐり描きしながら

あきら かぜ

青に持ち替えて

あきら あめ

オレンジで描いて

あきら かみなり

紙が破れそうな勢いで描く

あきら これ 台風やってん こわかってん

地震や台風といった非日常の災害が立て続けに起こり、子どもたちの心に残っている「怖かった」という思いが、絵を描くときにふと出たようでした。



しましまきたい

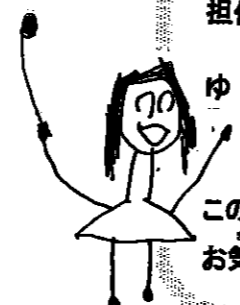
さいじ
1歳児

担任が、着替える服を渡した時

ゆめ しましま

しましまにする

この服が着たいという思いがしっかりあり、自分で選んでお気に入りのポーターの服を着ました。



いきてるめいじんやで!

さいじ
4, 5歳児

夕方 保育室であそび、お迎えを待っている時。

ゆみか みずきちゃんのおむかえて

いつもおばあちゃんやなあ

みずき うん...

ゆみか おかあさん おらんの?

みずき いるけど おしごとやから...

かずお おばあちゃんっておかあさんよりも

いきてるめいじんやねんで

おばあちゃんでもいいやん!

みずき いきてるめいじんなんや

かっこいい おばあちゃん!

ゆみか ほんまや!

ゆみかちゃんが、いつもおばあちゃんが迎えに来ることへの疑問を素直に言ったところ、みずきちゃんが少し落ち込みましたが、かずおちゃんの言葉から、おばあちゃんがかっこよく思えてきたのでした。



カブトムシしんじやったかな

さいじ
2歳児

カブトムシのお世話(霧吹き・えさやり)をしている時、お腹を上にして動かないカブトムシを見つける。

えいた カブトムシ 反対なってる~

カブトムシをひっくり返す

ゆり うごかないよ~

しんじ しんじやったのかなあ

えいた しんじののかな?

ゆり 元気がないよ

しんじ うめてあげないとね~

みんな 心配そうにしばらくのぞき込む

カブトムシがひっくり返った向きになっていることが、今までの世話をした経験から、カブトムシにとってしんじ体勢ということを知っている子どもたち。動かないカブトムシの様子に「いのち」について感じ、思いやりを感じた子どもたちの会話でした。

